



THE WORLD'S FIRST PLUG-AND-PLAY EYE TRACKING SOLUTION FOR SIMULATION ENVIRONMENTS

FX3 (エフエックススリー) はシミュレータ、実車、コックピットなどの複雑な環境の中で、両眼の高精度な注視位置や眼球運動、空間中の頭部位置などのデータをロバストに提供する高性能のアイトラッカーです。USB3 接続のプラグ&プレイで、簡単に計測を開始できます。FX3 アイトラッカーを使って、例えばドライバーの注意、車載機器への視線のスキャンパターン、対象物への視線の停留を計測したり、シチュエーションごとの気づきや反応時間を計測することができます。

基本仕様

ヘッドボックス： 31cm×40cm @65cm (FX3 から目までの距離：40~80cm)
 サンプリング： 60 Hz
 注視視野範囲： ±30度 (水平)、+30~-15度 (垂直)
 注視精度： 0.78度 (平均値)、0.59 (標準偏差)
 寸法： 170mm(L)×40mm(D)



使いやすい

頭を大きく動かせるので、設定・データ取得が容易です。被験者の自然な視線の動きを簡単に計測できます。



広範囲なトラッキング領域

視線データをトラッキングできる領域が広く、複数のモニターを見る視線データも計測できます。例えば単眼しか認識できない場合でも信頼できるデータが取得できます。



多用途な使い方

小型・軽量の FX3 はシミュレータやコックピットへの設置、複数のディスプレイの間に縦置きするなど、様々な設置が可能です。



外乱光に強い

眼鏡をかけていてもデータ計測可能。メガネやサングラスからの反射に強く、様々な照明や光環境に大きく左右されないロバストな安定したシステムです。



この上ない柔軟性

最先端の技術と使い勝手の良さを備えたシーンカメラにより、被験者が見ている風景画像（視野映像）の上に視線データを重ねて分析することができます。シーンカメラにより実空間での計測をはじめ幅広いテストに対応できます。



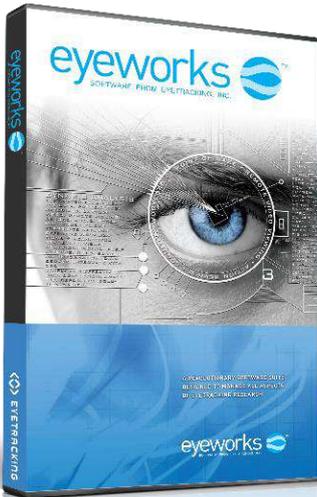
互換性

主要なシミュレータと容易に一体化ができます。付属の SDK により、使用しているアプリケーションソフトウェアに対応します。



ユニークなアドオンモジュール：メンタル負荷解析(Cognitive Workload モジュール)

Cognitive Workload モジュールを使用すれば被験者のメンタル負荷をリアルタイムに算出できます。(裏面をご覧ください)



EyeWorks (アイワークス) ソフトウェアは、「研究者が研究者のために開発した」先端産業向け分析ソフトウェアです。FX3をはじめ、様々なアイトラッカーで使用できます。各種の可視化やダイナミックコンテンツの興味領域分析をはじめ、実車、タブレットなど実像に対応したシーンカメラ計測、超高解像度ビデオによる計測、マルチディスプレイ計測に対応しています。EyeWorks 視線分析ソフトウェアを使えば、視線計測のテスト設計、レコーディング、分析を全て行う事ができます。注視のスキャンパスや停留時間、被験者グループの注視を効果的に可視化します。動画の興味領域分析も可能です。



ヒートマップ
(静止画・動画)



注視点追跡



注視点クラスター



注視統計 (比率)



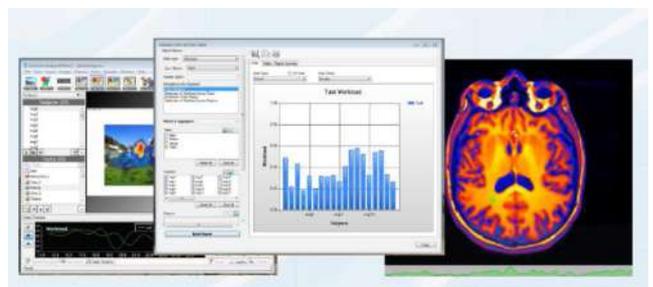
ピースウォーム

EyeWorks 用アドオンソフトウェア – メンタル負荷解析 Cognitive Workload モジュール

ICA (認知活動指標 ; Index of Cognitive Activity (特許取得済))

EyeWorks 用の有料アドオンソフトウェア『Cognitive Workload (コグニティブ ワークロード) モジュール』を使えば、視線を計測しながら同時に視覚と聴覚によるメンタル負荷インデックスを簡単に追加できます。例えば、

- 自動車はスマートになったけどドライバーの視覚と聴覚の負荷は増大していませんか？
- 同じコース、同じ天候で初心者と経験者ではどのぐらいメンタル負荷が異なるのでしょうか？
- 同乗者の話しかけはどのぐらいの負荷になりますか？
- ナビは視覚と聴覚ではどちらが効果的ですか？



など、典型的なマルチタスクである運転におけるドライバーの実行機能の評価、メンタル負荷に関する様々な疑問に貴重なインデックスを提供します。

[資料請求・お問い合わせ・デモのご用命はこちら](#)

株式会社 クレアクト

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-13 五反田増島ビル 4F

Tel : 03-3444-5601 Fax : 03-3442-5402 eMail : info@creact.co.jp